

1. タイトル

小学校焼き芋大会

2. 参加人数

日付	人数	場所
2021年11月24日(水)	130名:6年生(123)・教職員(7)	松林
2021年12月3日(金)	119名:3年生(112)・教職員(7)	
2021年12月7日(火)	133名:4年生(125)・教職員(8)	
2021年12月10日(金)	130名:2年生(112)・教職員(13)・学生(5)	
2021年12月14日(火)	163名:5年生(127)・教職員(11)・学生(17) ・成蹊高校生(8)(小中高一貫教育連携企画)	
2021年12月16日(木)	119名:1年生(112)・教職員(7)・保護者(複数名)	

3. 活動内容

けやき循環プロジェクトの活動の一つである落ち葉集めで、小学生が集めた落ち葉や、大学生と教職員と一緒に集めた落ち葉、管財課分室が構内整備業務の中で集めた落葉を活用し、芋を焼く。芋を焼く際には、まず、落ち葉を燃やして灰にした「焼き床」を作る作業を行う。焼き床は担当するメンバーによって形が異なり、馬蹄形・円・一直線と各人の長年の経験や知恵をもとに作られる。それぞれの焼き床に小学生が芋を投入し、再度落ち葉を積み上げて燃やしていく。芋を投入してから約2時間後、焼き芋が完成する。出来上がってすぐのホクホクの焼き芋を食べているときの小学生の表情はとても微笑ましい。

4. 期待される成果と今後の課題

焼き芋大会の魅力は、小学生、大学生、教職員が交流しながら集めた学内のケヤキの落ち葉を燃やして芋を焼いている点、芋を焼き終わった後に残った灰を肥料として畑に撒いている点、日常生活の中で火に触れる機会が乏しい子どもたちが、焼き芋大会を通じて火の扱いなどを学べる点であると考えます。昨年度はコロナ禍により、大学生、教職員と協力して落葉拾いを行うことができなかったが、今年度はウイルス対策を徹底し、協力して落葉拾いを行うことができた。なお、ケヤキ並木の切詰剪定により、落ち葉不足が懸念されたが、管財課分室で長期間にわたり集めていただいた大量の落ち葉を使用することで、滞りなく開催することができた。この場を借りて、感謝申し上げたい。

しかしながら、今年度はコロナウイルス対策として、一緒に焼き芋を食すことができず、焼き床についても有志の教職員と小学生とが、別の焼き床を作らざるを得ない等、協同での活動という点では満足いくものではなかった。また、教職員や大学生が焼き芋大会に参加しても、人数次第では手持ち無沙汰になってしまうため、人数制限を設けたうえでの各日程への分散、シフト制等の工夫が必要であると感じた。

昨年度は近隣住民の方から、当日の煙及び周知方法に関してご意見をいただいたことから、今年度は近隣住民へ周知文を投函したが、あるご家庭から消防署に通報があり、警察官1名消防官3名が現地確認をするに至った。来年度は投函エリアの拡大等、再度学外周知方法を検討する。



以上

(報告者：小学校事務室 吉田)